

WHO 西太平洋地域事務局－国立保健医療科学院共催「病院の質管理研修」
WPRO-NIPH「5th Hospital Quality and Patient Safety Management Course」
(2018年3月12日～3月16日)

1. 本研修の概要

西太平洋地域の各国における病院の質管理の能力開発を強化することを目的として、3月12日から3月16日までの日程で、WHO西太平洋地域事務局（WHO/WPRO）との共同開催研修「第5回 病院における医療の質・患者安全管理コース」を実施した。

2. 実施方法

研修対象者とWHO職員の他にシンガポールおよびマレーシアからは関連分野の専門家も招聘された。研修期間中にWHO協力センターである国立国際医療研究センター（NCGM）（野田信一郎先生、大曲貴夫先生など）およびイムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院（豊田郁子さんなど）を訪問して、その活動等から学んだ。また講師として、亀井智子教授（聖路加国際大学看護学研究科・研究センターPCC 実践開発研究部・WHO看護開発協力センター）、俣木志朗教授（東京医科歯科大学大学院・歯科医療行動科学分野）、神保勝也氏（日本医療機能評価機構、評価事業審査部）にもご協力を頂き、「人々中心とは」「5S とリーダーシップ」「病院の第三者評価」について、講義と意見交換を行った。今年度の研修の特徴として、WHO本部から院内感染の担当者（Dr Benedetta Allegranzi など）、そして医療機関の認証についてはマレーシアの医療機能評価機構（Dr Kadar Marikar , MSQH: Malaysian Society for Quality in Health）の担当者も来日して、例年以上にこれらのテーマについては議論を深める機会となった。

3. 参加者

今年は5か国（モンゴル、ベトナム、カンボジア、ラオス、フィリピン）から16人（病院幹部や医療安全や院内感染の責任者など）が参加した。

【研修風景】

